

平成19事業年度

決 算 報 告 書

自：平成19年4月 1日

至：平成20年3月31日

国立大学法人東京工業大学

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	22,232	23,562	1,330	(注1)
施設整備費補助金	1,465	347	1,118	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	123	1,893	1,770	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	65	65	-	
自己収入	6,271	6,763	492	
授業料、入学金及び検定料収入	5,966	5,260	706	(注4)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	305	1,503	1,198	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	9,643	8,813	830	(注6)
長期借入金	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	1,174	606	568	(注7)
計	40,973	42,049	1,076	
支出				
業務費	22,925	23,153	228	(注8)
教育研究経費	22,925	23,153	228	
診療経費	-	-	-	
一般管理費	6,752	7,259	507	(注9)
施設整備費	1,465	347	1,118	(注10)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	123	1,893	1,770	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	9,643	7,504	2,139	(注12)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	65	65	-	
計	40,973	40,221	752	
収入 - 支出	-	1,828	1,828	

予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金については、退職手当等に係る前年度からの運営費交付金債務が繰り越されたため、予算金額に比して決算金額が1,330百万円多額となっております。

(注2)施設整備費補助金については、事業が翌年度に繰越となったため、予算金額に比して決算金額が1,118百万円少額となっております。

(注3)補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が1,770百万円多額となっております。

(注4)授業料収入については、平成20年度入学者に係る授業料の前納を行わないこととしたため684百万円の減、入学金収入については入学者の減により14百万円、検定料収入については入学志願者の減により8百万円、予算金額に比して決算金額が706百万円少額となっております。

(注5)雑収入については、科学研究費補助金等の間接経費収入を決算額に含めているため947百万円の増、利息等の受入で102百万円の増、版權・特許料収入等で149百万円増のため、予算金額に比して決算金額が1,198百万円多額となっております。

(注6)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、前年度からの繰越分の支出相当額を決算額に含めているため216百万円の増、科学研究費補助金等の間接経費収入を決算額に含めていないため933百万円の減、予算段階において予定していた寄附金の獲得計画に相違が生じ85百万円の減、産学連携等研究の獲得計画に相違が生じ28百万円減のため、予算金額に比して決算金額が830百万円少額となっております。また、前年度からの繰越額の支出は216百万円となっております。

(注7)目的積立金取崩については、剰余金の残額に係る執行が計上されたため、予算金額に比して決算金額が568百万円少額となっております。また、決算金額606百万円のうち600百万円は建設仮勘定となっております。

(注8)業務費については、教育研究経費において産学連携等研究経費及び寄附金事業費等の間接経費分を決算額に含めているため618百万円の増、事業の繰延による390百万円減のため、予算金額に比して決算金額が228百万円多額となっております。

(注9)一般管理費については、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等の間接経費分を決算額に含めているため1,316百万円の増、予算段階で過大見積(809百万円)があるため、予算金額に比して決算金額が507百万円多額となっております。

(注10)(注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,118百万円少額となっております。

(注11)(注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,770百万円多額となっております。

(注12)(注6)に示した理由等により、科学研究費補助金等の間接経費、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等の間接経費の執行を決算額に含めていないため1,793百万円の減、事業の繰延による346百万円減のため、予算金額に比して決算金額が2,139百万円少額となっております。また、決算額7,504百万円のうち前年度からの繰越額の支出は216百万円となっております。